

Ledya Home Doctor

レディアホームドクター

Q&A

脚の静脈が浮き上がっているのですが子育てや家事が忙しくて治療に踏み切れません。最近、夕方になると脚がだるくむくみも強くなってきました。痛みが少なくて、日常生活に影響が少ない治療法があると聞いたのですが。

(40代女性)

日常生活に影響少ない 下肢静脈瘤の低侵襲治療

下肢静脈瘤の原因はまだ解明されていませんが、女性の場合、妊娠中の女性ホルモンの影響で静脈が膨らんで弁が壊れて発症することが多く、「脚が重くだるくむくむ、歩くのがおっくう」などの症状以外に、外観上の問題もあり悩みの種になります。しかしご質問にあるように「自分のことで家に迷惑を掛けられない」と治療を躊躇している方が多いようです。

治療は、逆流する血液の流れを止め、浮き上がった瘤を切除する手術です。最近では体に負担が少ない日帰り治療を行う医療機関もあり、日常生活へ影響も少なくなっています。そのほかには「血管内治療」があります。静脈の内側からレーザー波、ラジオ波、硬化剤を用いて血液の逆流を止める外来治療法です。当クリニックで行ったアンケート調査では、治療後の「痛み」で血管内レーザー治療が手術より優れていました。そのほかの身体的・精神的・社会的なスコアはどちらの治療法でも明らかに改善し、多くの患者さんが脚のだるさから解放されています。

診断には静脈の流れの方向を調べるデュプレックス超音波検査が必要です。脚のだるさでお困りの方は下肢静脈瘤専門の医療機関を受診してください。



回答医師

諸國 眞太郎 先生

医療法人社団操仁会理事長。岡山第一病院 下肢静脈瘤日帰りセンター長(1)。諸國眞太郎クリニック院長(2)。1981年岡山大学医学部卒業。末梢動脈疾患、下肢静脈瘤など血管外科に携わる。

■(1)岡山市中区高屋343 TEL.086-272-4088

■(2)岡山市北区錦町6-17 OWLSTYLE錦町2 4階
TEL.086-224-1313

URL <http://www.varix.jp> E-mail laser@varix.jp